

英国調査から

金融労働研究ネット
ワーク

合田 寛

2018.12.16

英国の最賃制度

Low Pay Commission訪問から

○LPC：独立機関；使用者代表（3人）、労働者代表（3人）、公益代表（学者2人+委員長）

○英国の最賃制度：national minimum wage ⇒ national living wage（2016年導入、所得の中央値の60%を目標）

Table 1: 2017 Report recommendations

Minimum wage rate	April 2017	April 2018	Increase	
	£ per hour	£ per hour	Pence	%
National Living Wage (NLW)	7.50	7.83	33	4.4
21-24 Year Old Rate	7.05	7.38	33	4.7
18-20 Year Old Rate	5.60	5.90	30	5.4
16-17 Year Old Rate	4.05	4.20	15	3.7
Apprentice Rate	3.70	3.90	20	5.7
Accommodation offset	6.40 per day	7.00 per day	60	9.4

Low Pay Commission Report 2018

1 £ = 145円とすると
7.83£ = 1135円
10£ = 1450円



反緊縮運動

People's Assembly Against Austerityを訪ねて

- ・2013年に設立。コービン、トニー・ベンら著名な活動家のバックアップ。
- ・緊縮政策は社会保障、教育、労働など、社会のあらゆる分野で害悪を及ぼしている。背景が同じならばそれぞれの分野で抵抗するよりも、一つの傘の下で政府に怒りを向けることが重要。
- ・緊縮政策は公共部門の縮小・民営化など、小さな政府を求める保守党のイデオロギーに基づいている。
- ・「緊縮政策Austerity」という用語は難しく、最初は一般市民に理解されなかったが、反緊縮をスローガンにして、その具体的な表れを説明していくことを通じて「緊縮政策は悪いもの」という理解が広まった。
- ・普遍主義的な福祉を求める「北欧型の福祉」モデルもあるが、それを持ち込むと運動が分断される恐れがあるのであえて主張しない。
- ・緊縮政策はNHSの縮減など中間層にも及ぼうとしており、反緊縮運動に中間層を含めて支持を得ることは難しくない。
- ・この10年、上位2%以外の所得は減り続けており、中間層も低所得層もない。おしなべていまの世代は親の世代と比べて貧しくなっている。
- ・緊縮政策のつけの多くは若者に集中している。若者に「君たち自身で作るのだ、作れるのだ」との呼びかけが必要。若者が飛びつくスローガン、キャンペーンが必要。
- ・政策論争ばかりではなく、また慎重になりすぎないで、何ができるかを考え、大胆に一步を踏み出してイベントを企画すれば、人々の想像力を掻き立て、そのプロセスで多く的人是は変わる。
- ・時機を見て一大キャンペーンを行っている。選挙時に25万人が集結する一大デモをしたこともある。

ピープルズ・アッセンブリーの標語

BRITAIN IS BROKEN
WE CAN'T AFFORD THE TORIES



Poverty
Wages

Bankrupt
Councils

NHS
Crisis

Record
Homelessness

Skint
Schools



AGAINST AUSTERITY
THE PEOPLES ASSEMBLY

LAUNCH : LONDON IRISH CENTRE
50-52 CAMDEN SQUARE, NW1 9XB | 28 NOVEMBER | 7PM

若者運動 モメンタム (Momentum) 創設者サルマン・シャヒーン氏を訪ねて

- ・組織：コービンと労働党を支える草の根運動。2015年設立。現在全英170支部、メンバー4万人
- ・源流：金融危機後のオキュパイ運動（シティのセントポール寺院での座り込み。TJNの源流「UKアンカット（多国籍企業の租税回避に抗議）」もここから生まれる。
- ・垂直型ではなく水平型運動。そこからあふれるアイデアをくみ上げる。
- ・若者が自分たちを代弁してくれる政治家をコービンに見出し、党首に押し上げた。左派のコービンでは中間派が離れ、選挙に勝てないことが危惧されたが、右傾化によって離れた人が再び党に投票した。
- ・労働党大会のすぐ隣でサイドイベント（ザ・ワールド・トランスフォームド；TWT）を開催。草の根の活動家、市民団体が集まる。マスコミも注目。クリステンセン氏も長年参加



We are The World Transformed - a 4-day politics, arts and music festival running alongside the Labour Party Conference, working to build left power both inside and outside of Parliament.

The World Transformed is about imagining the world we want to live in and planning how we get there. And it's about doing it together. (2018.9.22—25 at Liverpool)

ファイナンス・カース

TJN ジョン・クリステンセン代表を訪ねて

- ・イギリス経済におけるCity of Londonの役割；政府は金融部門を世界で最も競争力ある地域につけることであり、EU離脱を受けて、それがさらに重要な政策となっている。
- ・メイ首相は開発戦略としてシンガポール・オン・ザ・テムズを提唱。グローバルなオフショア世界の中心に。
- ・EU離脱によって金融機関がフランクフルト、パリなどに移ると、グローバルマーケットの中で金融上の地位を維持するには、税や規制を緩め、底辺への競争をするしかない。世界からダーティ資金が集まるリスク。
- ・ロンドン金融都市；すべての富がその他の産業から金融に集中、金融だけが潤い、収益を上げている。
- ・緊縮政策によって、この10年間で家計の所得は10%下落。借金が増え、賃金が下がり、住宅価格が高騰している。この結果格差が開き、民主主義が緊張関係に入っている。
- ・製造業への投資が停滞し、伸びているのは不動産、M&A投資。離脱によって製造業はさらに単一市場であるEUに向かう。
- ・それは英国がファイナンス・カース（Finance Curce）に陥ったことを意味している；金融界に過度に依存した結果、英国全体の富を金融界が搾り取っている。



カナリー・ワーフ 新金融街



年齢別投票率の推移（1964～2017年）

Appendix 2: Estimated turnout by age at General Elections (%)

	Age group						All
	18-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65+	
1964 ^a	76.4%	70.7%	79.5%	79.1%	78.4%	76.7%	77.1%
1966 ^a	60.5%	70.8%	80.0%	79.8%	78.0%	75.9%	75.8%
1970	64.9%	66.5%	72.8%	74.9%	74.1%	77.2%	72.0%
F1974	70.2%	77.2%	78.7%	73.1%	82.2%	79.2%	78.8%
O1974	62.5%	69.0%	73.9%	76.6%	76.6%	76.0%	72.8%
1979	62.5%	72.4%	76.3%	81.2%	81.4%	77.7%	76.0%
1983	63.9%	67.6%	76.2%	77.6%	77.2%	73.1%	72.7%
1987	66.6%	74.0%	74.9%	79.9%	78.9%	76.0%	75.3%
1992	67.3%	77.3%	78.3%	81.8%	78.1%	79.2%	77.7%
1997	54.1%	62.2%	70.2%	76.4%	79.9%	77.7%	71.4%
2001	40.4%	45.0%	55.7%	63.2%	64.0%	70.1%	59.4%
2005	38.2%	47.7%	61.6%	65.5%	72.6%	74.3%	61.3%
2010	51.8%	57.3%	64.4%	67.5%	69.8%	74.7%	65.0%
2015	51.5%	52.0%	60.3%	70.1%	74.1%	78.8%	66.1%
2017	64.7%	62.8%	65.6%	68.6%	72.3%	75.0%	68.8%

Note:

a. Data for 1964 and 1966 refers to people aged 21-24 as the voting age was 21 not 18

b. British Election Study data has been adjusted for actual turnout

Sources:

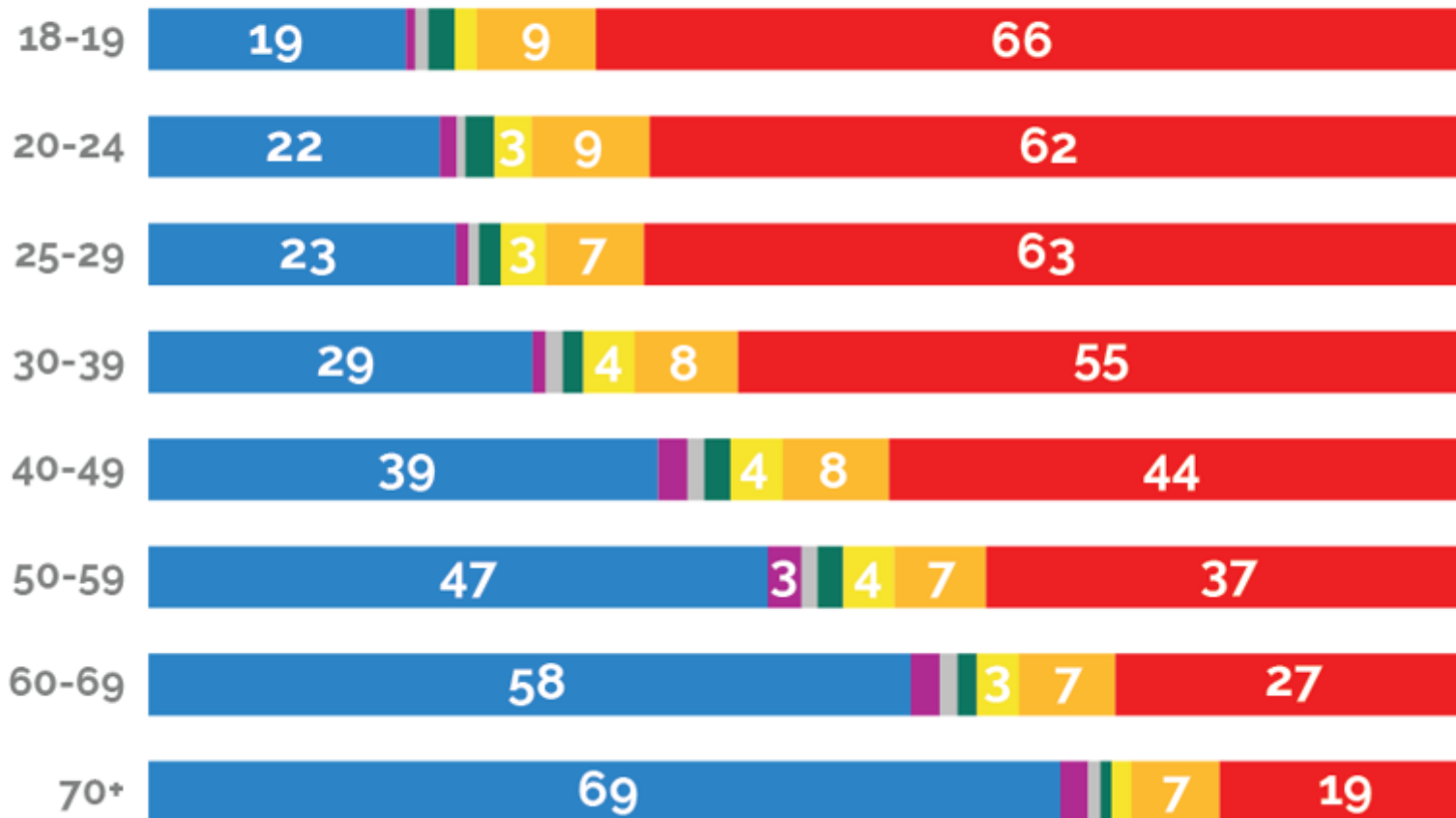
British Election Study, various years

年齡別/政黨別投票率 (2017年總選舉)

Vote by age

Based of a survey of 52,615 GB adults about their vote in the 2017 general election

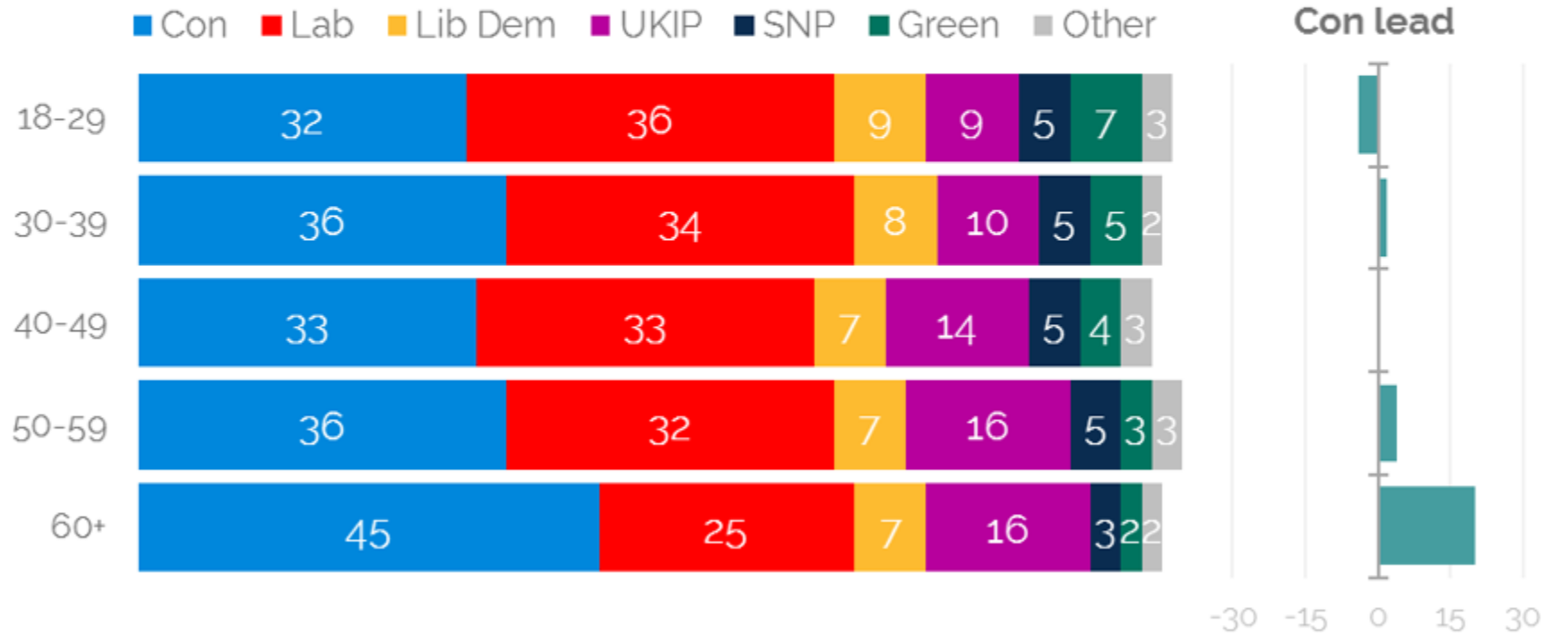
■ Conservative ■ UKIP ■ Other ■ Green ■ SNP ■ Lib Dem ■ Labour



年齡別/政黨別投票率 (2015年總選舉)

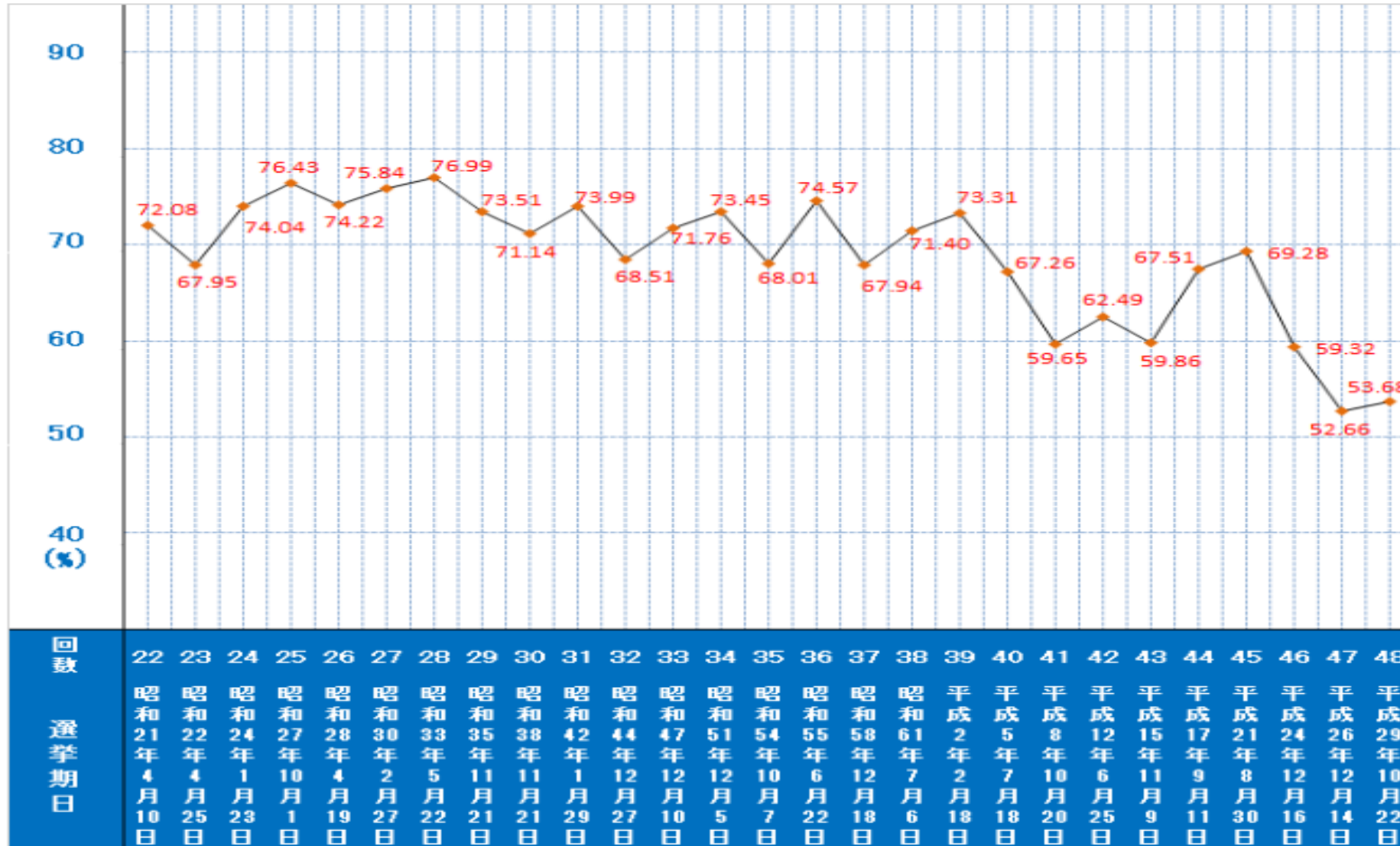
Vote by age

Based on a survey of 100,000 GB adults about their vote in the 2015 general election, conducted May 6th-18th, 2015.



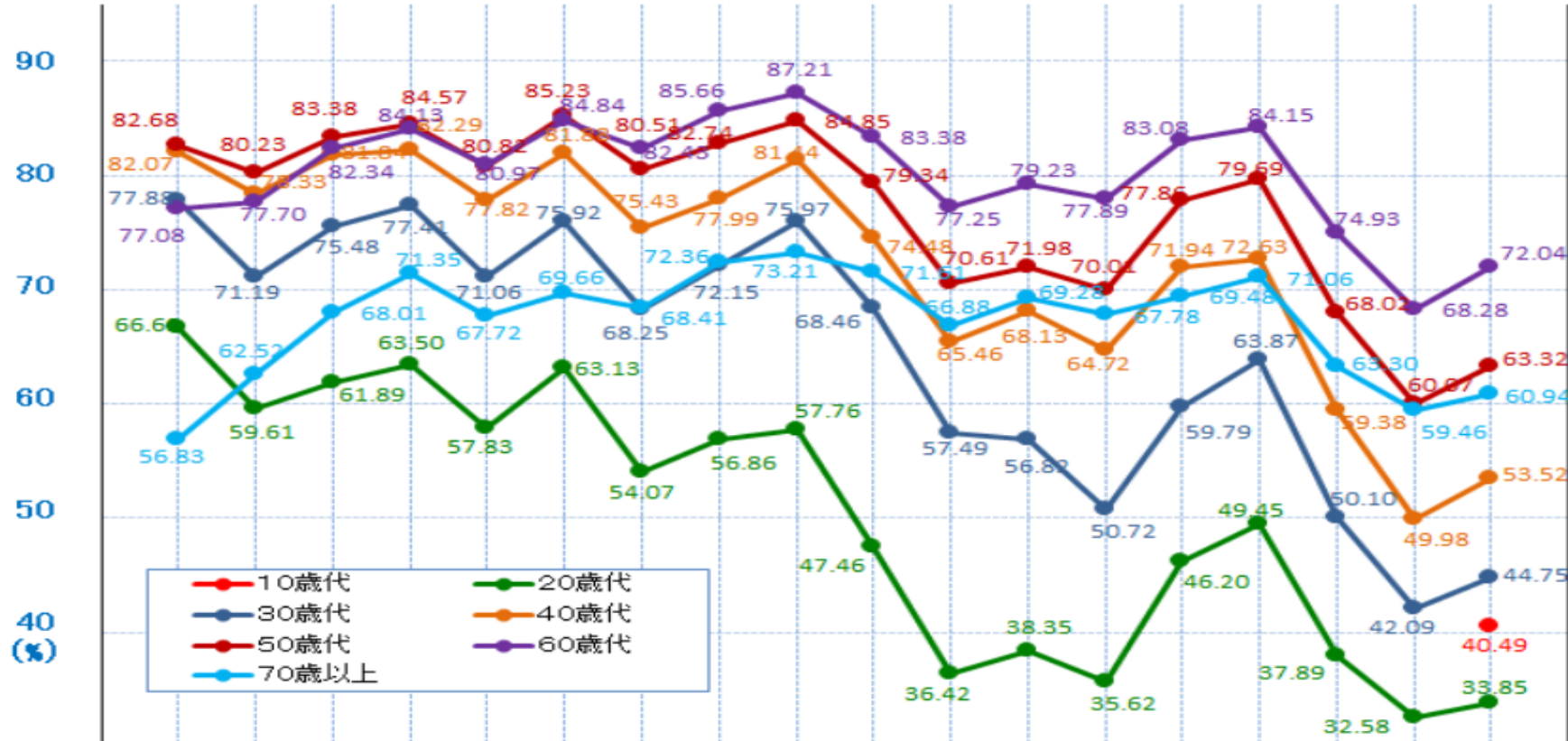
投票率の推移（日本・衆議院選挙）

衆議院議員総選挙投票率の推移(中選挙区・小選挙区)



年齢別投票率の推移(日本)

衆議院議員総選挙年代別投票率の推移



明るい選挙推進協会